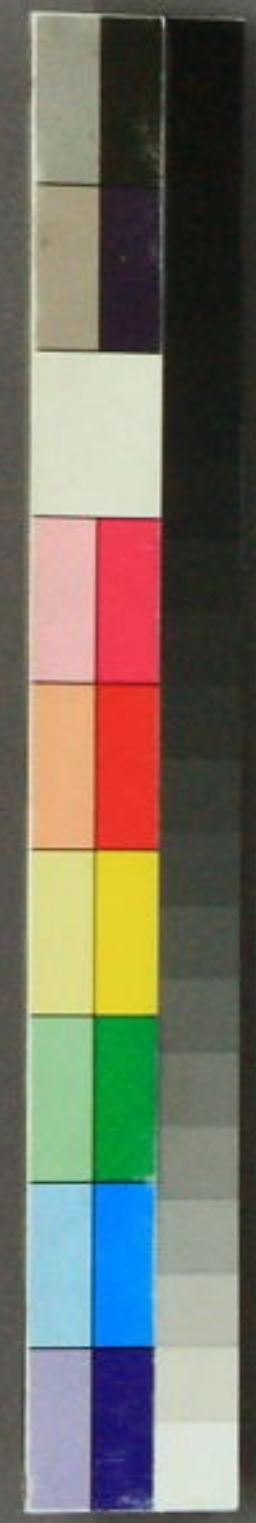


元暦元年己六月廿三日
 本三位中將重衡卿
 寂朝の砌此木津當寺
 阿彌陀佛不値遇あり
 折しは杜鵑乃啼て西
 へこに行はるを聞けり

思事 かのり
 阿の勢を郭公
 重にうれくも
 あり

歸り是より後又諸方征戦レテ屢々源氏兵ヲ破レ然レトモ平氏勢日ニ窮一リ一谷ノ城陥ルヤ
 兵ヲ率テ赤松ニ赴キ東大興福ノ寺ヲ攻メ火ヲ放テテ之ヲ焼ク堂塔ノ焼ケル者二百餘宇大佛殿亦灰燼ニ
 年重衡ハ清盛ノ子ナリ治承四年五月以仁王兵舉ルヤ重衡等兵ヲ將トシテ源頼政ノ宇治川ニ破レ十二月亦

之ヲ赤良改ニ象ス
 東大興福西寺ノ僧徒共首ヲ請ヒテ
 未津河上ニ斬ラル年二十九
 從容トシテ死ヲ待ツ寺永三千年ニ遠ニ
 劍拔シテ僧トナランコトヲ請ハトモ聽カレズ
 志モ屈抗ス所ナシ
 シノ之ヲ引見スルニ重衡神色自若トシテ
 ソレヲ鎌倉ニ致サレハ頼朝北条ニ狎
 之ノ京師ニ送り頼朝復ニ抗ス景時
 重衡馬ヲ失ヒテ遂ニ敵手ニ落ツ義經



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



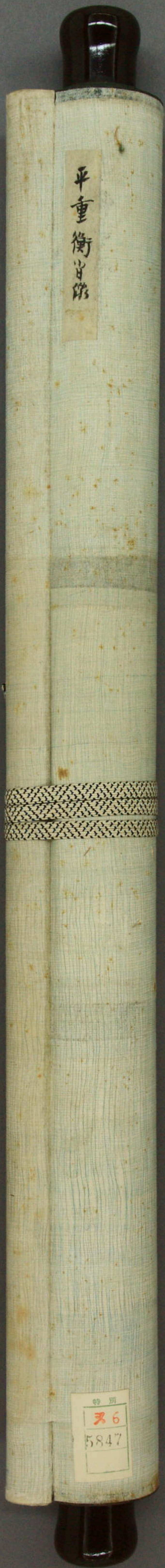
大正九年正月
木三任中将重御
寂胡此水事
阿弥陀佛不遇
折も柱腕の事
西石
へんじりんを
開行する

恩事 かみり
阿彌陀佛
善じりん
かみり
善

師、是、後、又、法、子、任、職、シ、奉、修、死、兵、破、然、レ、平、氏、如、日、病、一、谷、飛、鶴、々、
交、申、テ、奈、大、起、大、機、福、ニ、子、以、火、救、之、此、座、浴、死、一、百、餘、守、天、佛、威、水、火、陸、
年、重、衛、の、遺、徳、子、子、治、家、四、年、五、月、以、仁、仁、大、業、ト、重、衛、子、大、將、ト、シ、テ、承、継、政、事、是、川、破、レ、十、二、月、不、



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



平重衡片銘

特別
又6
5847





平
查
衡
省
像

又6
5847

